

地図からみる帝都物語と東京文化資源区 第一回 トークセッション

# 帝都物語からみる江戸・東京の風水

荒俣宏 清水祥彦 (神田明神権宮司)

昭和六〇年に発表された作家荒俣宏治氏のデビュー作「帝都物語」

では、帝都東京に安全な近代都市を築こうとする人々と、地霊平

将門の力を借りた帝都破壊の怨念の対立が、風水の思想を基軸と

しながら、幕末から近未来(昭和七三年)まで描かれています。

地図アーカイブの構築に取り組み、三区(千代田・文京都・台東)

文化資源地図協議会では、帝都物語の世界を介し、東京都心北東

部の都市の形成の要所と特徴を読み解く、地図カタログの作成に取

り組んでいます。

第二回目のトークセッションでは、荒俣氏、平将門を祀る社として

物語の核となる神田明神の清水権宮司をお迎えし、それぞれの時

代の地図から、都市の発展あるいは崩壊を促す、そして帝都物語の

世界の創造につながる江戸・東京の風水について語っていただきます。

平成三〇年六月十一日 午後六時三〇分 (開場六時)

於 神田明神祭務所地下ホール

東京都千代田区外神田二一十六ー二

司会・解説 真鍋隆太郎 片桐由希子 (東京文化資源会議)

主催 東京文化資源会議・三区文化資源地図協議会

協力 神田明神

参加費 無料

定員 一三〇名(先着順)

申込 申込フォームよりご登録下さい。

<https://www.facebook.com/tokyo.map.fab/>

問合せ 東京文化資源会議 地図ファブプロジェクト

E-Mail : [tokyo.map.fab@tohbu.jp](mailto:tokyo.map.fab@tohbu.jp)

